

スクールトピックス



コンテナを使って水草を回収する生徒ら



フォークなどを使って水草を集める生徒

猪苗代湖の水質改善を図るため、東中学校の生徒と猪苗代ライオンズクラブの会員ら約90人は10月10日、猪苗代湖の天神浜で湖岸に漂着した水草の回収作業を行いました。回収作業には、猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表が協力しました。

東中学校と猪苗代ライオンズクラブでは、腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、水環境の改善を図るため、平成23年からこの活動を行っています。

作業の前に猪苗代ライオンズクラブの山口剛会長が「かつて日本一だった猪苗代湖の水質を取り戻したい」とあいさつ。生徒たちは猪苗代ライオンズクラブ会員から指導を受けながら、フォークなどを使って水草約10トを回収しました。回収した水草は、猪苗代ライオンズクラブ会員が管理し、堆肥にして活用します。

東中学校1年生の古川晋太郎さんは「水草が多くて驚きました。以前のようなきれいな湖にしたいです」と話しました。

キラッ人いなわしろ

元々カフェだった自宅の一室を利用して手芸教室を開いている佐藤定子さん。教室には、色とりどりのキルトや布で作られた人形が並べられています。一番の自信作は、キルトで作った「カツオ」。今にも泳ぎだしそうな作品は、生徒の皆さんからも人気です。

佐藤さんが手芸に興味を持ったきっかけは、つるし雛です。色鮮やかな帯ひもから作られたつるし雛に心を奪われた佐藤さんは、約20年前、自分でも作ってみたくなり手芸教室に通い始めました。そして、手芸の楽しさや奥深さに引き込まれて、16年前に自分の手芸教室を開きました。4年前には、如風庵で行われたつるし雛展

示会で、念願だった作品出展を果たしました。

「手芸教室では季節をテーマにさまざまな飾り物を作っています。9月は十五夜のタペストリー、10月はハロウィーンにちなんで魔女の人形を作りました。皆さん器用なので、私が教えることはほとんど無いんですよ」と佐藤さんは笑顔で話します。

佐藤さんの教室には町内外から多くの生徒の皆さんが手芸を習いに来ています。「手芸の魅力は仕上がりを楽しみなどところ。これから手芸の楽しさ、面白さを自分自身も楽しみながら多くの人に伝え続けていきたいです」と話しました。



佐藤 定子 さん(上新町)



▲佐藤さんの自信作「カツオ」

ホットニュース

今回は「秋祭り」ということでいつもよりも体を動かしながら課題をこなす認知症予防体操を行いました。動いた後は良質な温泉でリフレッシュ。身も心もポカポカになれるお元気クラブにぜひ参加してください。



無理なく、楽しく健康体操

お元気クラブでみんな元気に！



保健福祉課
小板橋咲子 健康運動指導士

町では、町内在住で介護保険サービスなどを利用していない人を対象とした「お元気クラブ」を行っています。「お元気クラブ」では、週に1回、町老人福祉センターで介護予防体操や文化活動、レクリエーションなどを行っています。1回につき500円のクラブ費が必要です。

10月25日には、中ノ沢体育館と町老人福祉センターで「お元気クラブ秋祭り」が開かれ、約50人が参加しました。頭と体を使った健康体操などを行ったほか、通所曜日ごとに演芸を披露し、楽しいひとときを過ごしました。

▼問い合わせ先
保健福祉課 高齢者福祉係
☎(62)2115

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

宮本 沙綾香 さん

主な活動内容：有害鳥獣対策



今年5月から9月にかけて、町内の各小学校で有害鳥獣対策についての環境学習を行いました。本町ではツキノワグマ、ニホンザル、ニホンイノシシの3種類が多く被害を出しています。が、地域ごとに出没している頻度も違うため、各学校周辺で多く出没している野生動物について学習しました。

前半は動物の生態について食性や行動時間などをクイズ形式で解いてもらい、被害が出てしまう原因と対策について説明しました。後半は4人から6人のグループに分かれ、「どうして動物が来てしまったのか」という原因や「来ないためにはどうしたらいいのか」などの対策方法について、集落環境診断形式で考えてもらいました。児童は、「もっとこうしたらいいのではないか」と自ら新しい対策方法を考え、子どもたちの発想に私自身が学びの多い時間となりました。

今回の環境学習を通じて、若い世代の人たちにもっと有害鳥獣対策への興味を持ってもらい、集落での対策の力になってほしいと感じました。